関西団地軟式少年野球
第98回中央決勝大会
準々決勝（21日、大阪市舞洲中央運動場）

準々決勝4試合が行われ、今春王者の金岡ベアーズや、7年ぶりの優勝を目指す学園ブルーウェーブなどが勝ち上がった。準決勝2試合（金岡ベアーズ－宮川少年野球部、平岡ジャガーズ－学園ブルーウェーブ）と決勝、4年生以下の「第28回ジュニア選手権大会」（デイリー後援）の決勝は、28日に同会場で開催される。

主催　デイリースポーツ
　　　関西団地軟式少年野球連盟
後援　都市再生機構
　　　URコミュニティ
協賛　内外ゴム
　　　オリックス野球クラブ
　　　協同乳業

ベンチに向けガッツポーズする安原颯

学園BW 安原颯が投打で躍動

学園ブルーウェーブ（兵庫）0300002－5
箕面モンキーズ（北大阪）2000100－3
（学）安原颯－満田（箕）海老、松本、海老－宮本
▽二塁打　安原颯3、満田、坂本、濱田2（学）石井、宮本（箕）

春準Vを撃破

最後の打者を空振り三振に仕留めた安原颯がマウンドでほえた。

今春準優勝チームとの一戦。〝挑戦者〟として挑んだ学園ブルーウェーブが、激戦を制し準決勝に駒を進めた。

投打で安原颯が存在感を示した。同点で迎えた最終回の攻撃。2死二塁で高めに浮いた球を完璧に捉え、この日4安打目となる決勝の中越え適時二塁打。4番・濱田も左越え適時二塁打で続いた。「（安原颯の活躍は）すごいなと思った。一人で頑張っていたので、ホームに返したかった」と語った濱田に対し、照れ笑いを見せた安原颯は「今日負けたらもう大きい大会がないので、絶対勝つと決めていた。努力が実ったと思います」と充実感をにじませた。

投げては5安打3失点で完投。「相手の強い弱いは関係なく、自分のベストを出すだけだと思って投げた」と強力打線が持ち味の箕面モンキーズ相手に、強気な投球を続けた。

最終回に勝ち越し適時二塁打を放つ学園ブルーウェーブ・安原颯

基本を怠らず「楽しんで、自分たちのベストを出すこと」をモットーに練習に励んでいる。日々の素振りや走り込みの努力が今日の一勝につながった。「このままの勢いで優勝します」と宣言した安原颯。投打の要となり、チームを7年ぶりの頂点へ導く。（永井優花）

箕面モンキーズ・伊藤（五回に同点適時打）「チームとして得点力が足りなかった。これからチーム一丸となって得点が取れるようにみんなで頑張っていきたい」

【学園】		打	安
⑥	坂本	4	1
⑧	西田	4	1
①	安原颯	4	4
③	濱田	4	2
②	満田	3	1
⑤	井上	4	1
⑦	松下	3	0
⑨	前田	3	0
④	安原陸	3	0
	計	32	10

【箕面】		打	安
②	宮本	3	2
⑧	伊藤	3	2
⑥	井口	2	0
③13	松本	3	0
④	石井	3	1
⑦	岡崎	3	0
⑤	疋田	3	0
⑨	松村	1	0
H	佐川	1	0
R9	三角羽	0	0
H	三角琉	1	0
①31	海老	3	0
	計	26	5